

2025年3月期 中間期決算説明会

2024年11月19日

京成電鉄株式会社

1. 2025年3月期 中間連結決算

2. D1プランの進捗状況

3. 参考資料

1-1. 業績概要 [連結損益計算書]

インバウンド需要の増大に伴う成田空港輸送の増加等により増収増益
「持分法投資利益」の減少により経常利益の増益幅は縮小

■ 連結損益計算書

単位：百万円、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率
営業収益	147,949	158,033	10,083	6.8
営業利益	15,250	22,079	6,828	44.8
(営業利益率)	10.3	14.0	3.7pt	-
経常利益	27,148	31,518	4,369	16.1
(持分法投資利益)	11,750	9,437	△2,312	△19.7
親会社株主に帰属 する中間純利益	21,092	21,496	403	1.9
減価償却費	16,400	15,961	△438	△2.7

■ 営業収益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



■ 営業利益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



1-2. 業績概要 [連結貸借対照表]

未払法人税等の支払等により資産・負債がそれぞれ減少

■ 連結貸借対照表

単位：百万円	2024/3 実績	2024/9 実績	増減	増減要因
資産	1,064,202	1,028,165	△36,036	
現金及び預金	82,459	40,199	△42,259	未払法人税等の支払等による減
有形固定資産	659,935	661,945	2,009	
投資有価証券	225,591	227,886	2,295	持分法適用会社株式の増
負債	595,044	542,171	△52,873	
未払法人税等	30,925	5,817	△25,108	
有利子負債 ※	401,306	384,475	△16,831	
純資産	469,157	485,993	16,836	親会社株主に帰属する中間純利益の計上
自己資本比率	42.4	45.8	3.4pt	

※有利子負債にはリース債務を含む

1-3. 業績予想 [前期比較概要]

中間期の業績を踏まえ検討した結果、従来予想を据え置き

単位：百万円、%	2024/3 実績	2025/3 予想	増減	率
営業収益	296,509	337,600	41,090	13.9
営業利益	25,241	33,700	8,458	33.5
(営業利益率)	8.5	10.0	1.5pt	-
経常利益	51,591	58,100	6,508	12.6
(持分法投資利益)	25,927	25,500	△427	△1.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	87,657	47,000	△40,657	△46.4
減価償却費	33,352	32,600	△752	△2.3
設備投資額 ※1	60,708	144,700	83,991	138.4
有利子負債 ※2	401,306	384,200	△17,106	△4.3
EBITDA倍率(倍) ※2	6.9	5.8	△1.1pt	-

■ 営業収益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



■ 営業利益増減 (セグメント別)

(単位：百万円)



※1 設備投資額の2025/3予想にはM&Aを含む

※2 有利子負債にはリース債務を含む EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

1. 2025年3月期 中間連結決算
2. **D1プランの進捗状況**
3. 参考資料

2-1. 長期経営計画「Dプラン」概要

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

経営理念

長期経営計画

中期経営計画
(3か年計画)

長期経営計画「Dプラン」 〔2022年度～2030年度 9か年〕

D1プラン
(2022～2024年度)

D2プラン
(2025～2027年度)

D3プラン
(2028～2030年度)

グループビジョン及びグループ長期経営課題により構成

- グループビジョン：京成グループの将来のありたい姿
- グループ長期経営課題：現状・将来分析、経営環境分析を踏まえた京成グループの長期的課題

中期経営計画

- 長期経営計画に基づき事業戦略、数値目標を設定。

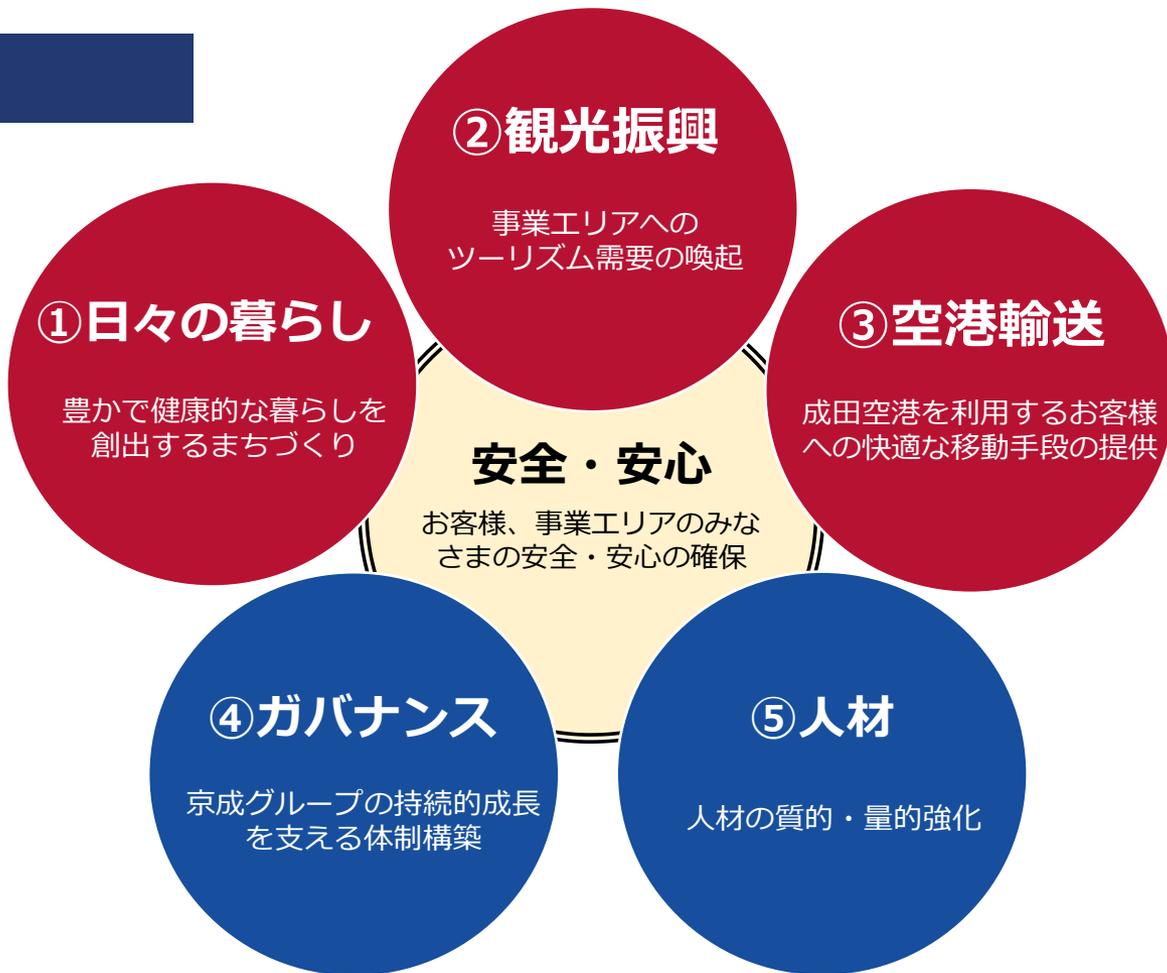
2030年のグループビジョン

京成グループの事業エリアのみなさまとの共創、及び、日本の玄関口、成田空港の機能強化への寄与を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献する

長期経営課題

ビジョン実現に向けた方向性

ビジョン実現のための基盤整備





株式会社イオンとの資本業務提携について

■ 目的

- ・ 地域に合わせた街づくりを通じて、地域の活性化に貢献していくため資本業務提携を締結

■ 業務提携について

① 開発及び不動産事業における共同取り組み

- ・ 京成電鉄及びイオングループは保有する不動産情報を共有し、イオングループ各事業による出店を含めた街づくりや共同取り組みも検討
- ・ 両社による商業施設・駅ナカ等の共同開発・運営（リーシングなど）

② その他両社が協業する取り組み

1. 小売事業、
2. 交通事業、
3. 金融事業、
4. 両社グループの施設価値向上

■ 第一弾の取り組み

- ・ 新津田沼駅周辺の再整備による新たなランドマーク化を計画

いろいろな笑顔を結びたい
京成電鉄



AEON



**地域の活性化へ貢献
グループビジョンの実現**

〔重点施策1〕 活力が持続するまちづくりの推進

■ 北総線沿線の活性化

- 新鎌ヶ谷駅周辺の賑わい創出・回遊性向上
 - 新鎌ヶ谷駅前商業施設着工（2026年度開業予定）
 - 中高層住宅「ザ・レジデンス新鎌ヶ谷ターミナルフロント」着工（2027年1月竣工予定）



- 分譲マンション「サングランデ東松戸」の販売開始※「ZEH-M Oriented」の認定取得物件



● 沿線地域との連携

- 北総鉄道(株)と市川市との「地域活性化に関する協定」に基づき、市川市動植物園と連携しイベント開催・大町駅装飾

■ 豊かな沿線の創出

● 分譲マンションの販売

- 船橋市本町の土地を取得し、超高層住宅の建設工事に着手（2027年度竣工予定）



● 不動産賃貸業の強化 取得物件

- オフィスビル「アルカセントラル錦糸町」
- 都内エリアの賃貸住宅9物件

● 押上線葛飾区内連続立体交差事業の推進

- 立体交差化により11か所の踏切を解消
- 京成立石駅の駅舎外装デザインが決定
- 仮下り線への切り替え（11月30日始発時より）



■ 事業エリアの皆さまとの賑わい共創

- 自治体・教育機関・企業等と連携し、各種企画や商品開発等を実施
 - 酒々井町ふるさと納税返礼品に
運転士養成・運転シミュレータ体験を提供（2024年7、8月）
 - 京成ストア×和洋女子大学「わよパン」販売（2024年7月）
 - 南葛SCとパートナー契約を締結（2024年4月）



【重点施策2】エコロジカルなまちづくりの推進

■ カーボンニュートラルに向けた取り組み

【京成グループCO₂排出量削減目標】

– 2030年度までに2013年度比46%削減 2050年度までに実質「ゼロ」

- 『人や環境にやさしいフレキシブルな車両』をコンセプトとする新形式車両「3200形」導入（2024年度中予定）
 - 既存車両と比較して 電力消費量を約7割削減
- 「ユアエルム成田店」において
実質再生可能エネルギー比率100%電力を導入（2024年4月）
- 制服をリサイクルした素材をテーブル製作に利用



新築分譲マンション「サングランデ東松戸」共用ラウンジにテーブルを設置

〔重点施策1〕 既存観光エリアの魅力向上

〔重点施策2〕 新たな観光資源やルートの開発

■ マイクロツーリズムの促進

自治体や企業等と連携し、沿線内外の方に地域の魅力を発信・体感していただける施策を実施

- ・ 夜間撮影会 in 宗吾車両基地の開催



夜間撮影会のイメージ

- ・ 「ナゾ解きした町電車旅 2024」を開催
- ・ リーリー・シンシン記念乗車券発売



- ・ 京成バラ園芸、鋸山ロープウェー、筑波観光鉄道等 -季節に応じたキャンペーンを開催



ケーブルカー宮脇駅のライトアップ

〔重点施策1〕 成田空港の更なる機能強化への対応

〔重点施策2〕 更なる利便性の追求

■ 空港アクセスの利便性向上

- 宗吾車両基地拡充工事（2023年12月着手、2029年3月完了予定）
 - － 成田空港の機能強化に伴い見込まれる更なる空港利用者の増加への対応等を目的として、新工場建設工事を推進
- ダイヤ改正の実施（夜間時間帯のスカイライナー増便）



■ 国内外へのプロモーション・販路の拡大

- 京成スカイライナーご利用5000万人到達
 - 記念式典の開催、記念ライナーの運行、記念キャンペーン実施
- 国外における認知度向上と利用促進に向けた取り組み
 - 京成電鉄×台北メトロ 相互連携に関する合意書締結
 - スカイライナーと台北アクセスの「セット乗車券」発売
- 海外旅行博への出展
 - － 台湾（2024年5月、11月）、マレーシア（2024年9月）
- ガルーダ・インドネシア航空×京成キャンペーンの実施



- 〔重点施策1〕 環境・社会に関する情報開示の充実
- 〔重点施策2〕 健全な財務体質の維持
- 〔重点施策3〕 コーポレート・ガバナンスの強化

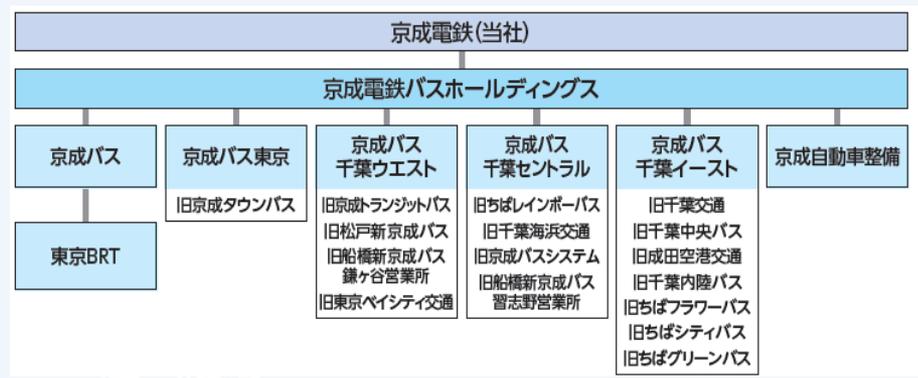
■ グループビジョンの達成に向けた中間持株会社の設立等

グループビジョンの確実な達成に向け、バス事業、タクシー事業、茨城県下において、中間持株会社体制へ移行することにより、営業力・採用力を強化すると共に、一体経営として変化に柔軟、迅速に対応していく体制の構築を図る。

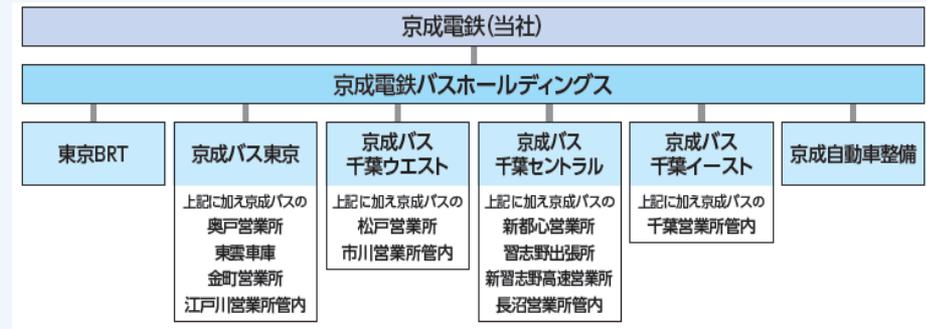
● バス事業

- 2024年11月1日
「京成電鉄バスホールディングス(株)」設立
- 2025年4月1日予定
中間持株会社体制への移行
およびバス事業会社の再編
- 2026年4月1日予定
バス事業会社の再編

2025年4月1時点



2026年4月1日時点





〔重点施策1〕 環境・社会に関する情報開示の充実

〔重点施策2〕 健全な財務体質の維持

〔重点施策3〕 コーポレート・ガバナンスの強化

■ グループビジョンの達成に向けた中間持株会社の設立等

● タクシー事業

- 「京成タクシーホールディングス(株)」を「京成電鉄タクシーホールディングス(株)」に商号変更のうえ、再編を実施

● 茨城県下

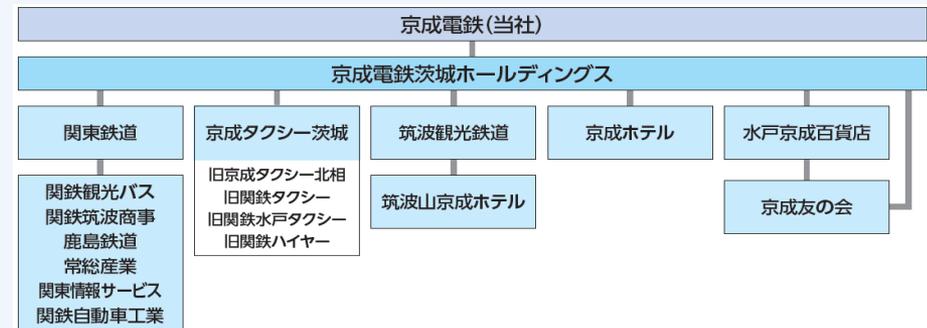
- 「京成電鉄茨城ホールディングス(株)」設立
- 中間持株会社体制への移行を実施

● 新京成電鉄(株)との合併に向けた準備を推進

2025年3月1時点



2025年4月1時点



■ 情報開示の充実

- サステナブルファイナンスの推進
- 「京成グループ統合報告書」を発行（日本語版2024年9月、英語版2024年10月）

〔重点施策1〕ダイバーシティの推進

〔重点施策2〕チャレンジする人材の育成

■ ダイバーシティの推進

- 女性が活躍できる環境の整備



各職場において女性が活躍中

- 外国人人材の採用、技能実習生の受け入れ
- 人員不足解消・職場全体の活性化や生産性向上
- 「京成グループ カスタマーハラスメントに対する方針」策定(2024年10月)



■ 人への投資

- グループ外企業/団体との人事交流の促進
- 京成グループにおける公募研修の拡充



- 定年延長の実施
- UR都市機構と連携し、京成グループ従業員を対象とする住宅確保に関する協定を締結（2024年9月）



〔重点施策1〕 災害対策の強化

〔重点施策2〕 お客様の安全を守る取り組みの強化

〔重点施策3〕 テクノロジーの活用

■ 2024年度鉄道事業設備投資計画

243億円（昨年度実績比+83億円）

※京成電鉄(株)単体数値

■ 災害対策の強化

- 法面補強工事の推進
（京成成田駅～空港第2ビル駅間等）
- 耐震補強工事の推進
（京成佐倉駅、千葉寺駅～ちはら台駅間等）
- 荒川橋梁架替工事の推進



新橋設置時のイメージ

■ 安全対策／テクノロジー

- 鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備を推進
 - －京成高砂駅、青砥駅、鬼越駅ホームドア
 - －勝田台駅エレベーター
 - －大森台駅エレベーターやバリアフリースイレ



ホームドア設置イメージ

- 駅ホームの改修
（宗吾参道駅）
- 駅施設リニューアル工事
（市川真間駅・京成中山駅等）
- 通勤型車両への防犯カメラ設置を推進
- 北総鉄道秋山駅において



車両への防犯カメラ

「画像解析ホーム監視システム」の実証試験に協力

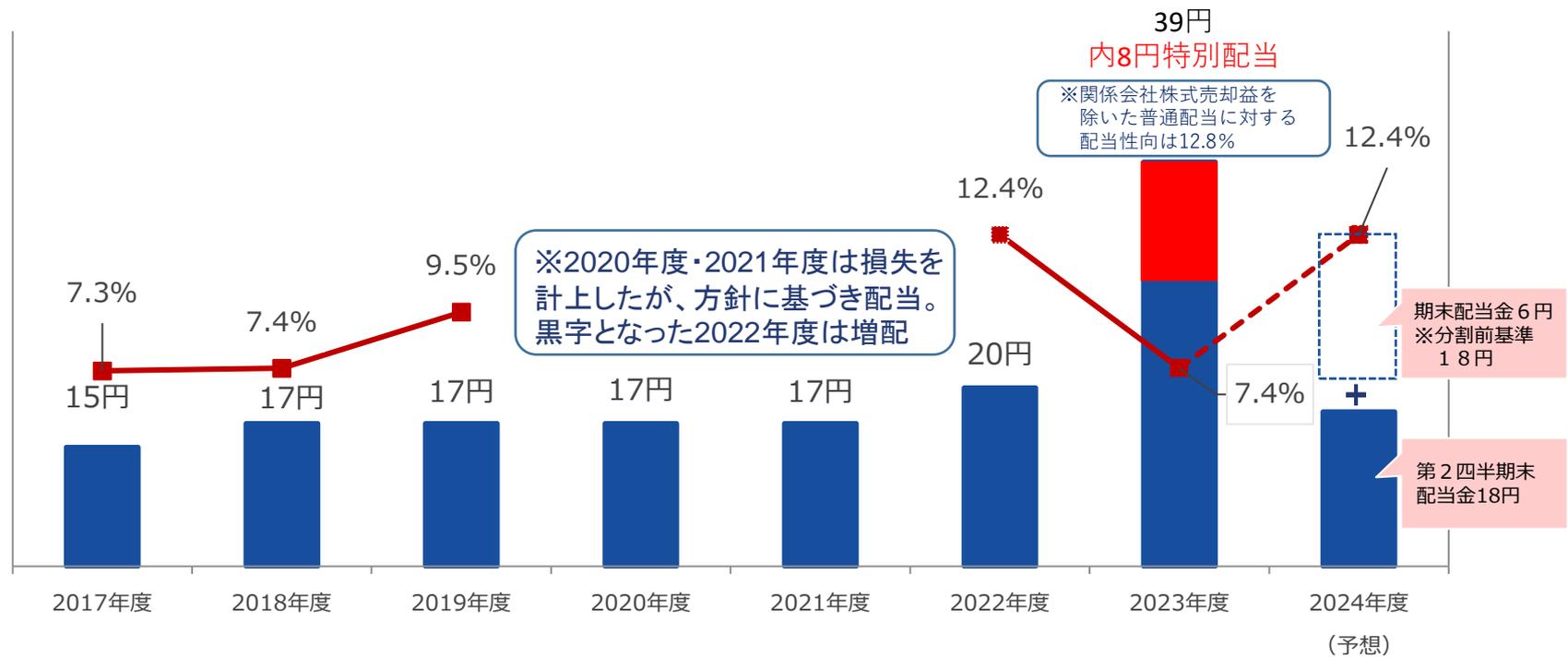
2-9. 株主還元について

- 基本方針：業績等を勘案しながら、株主の皆様へ安定的かつ継続的に利益還元する
(連結配当性向：10%以上を目標)

- 業績等を踏まえ、2024年度の1株当たり年間配当金は第2四半期末18円、期末6円※を予定

※2025年1月1日をもって株式分割（1株につき3株）を実施いたします。期末配当金は分割後の金額です。

連結配当性向および1株当たり配当金（年間）の推移



1. 2025年3月期 中間連結決算
2. D1プランの進捗状況
3. **参考資料**

3-1. セグメント別業績 [運輸業]

インバウンド需要の増大に伴う成田空港輸送の増加等により増収増益

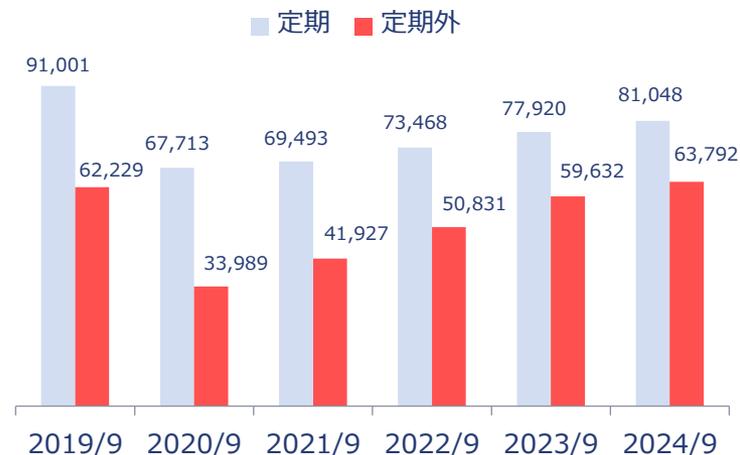
単位：百万円、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	88,110	98,516	10,406	11.8	
鉄道事業	44,546	51,132	6,585	14.8	成田空港輸送の増加
バス事業	27,627	29,852	2,225	8.1	運賃改定に伴う増収 成田空港輸送の増加
タクシー事業	15,936	17,532	1,595	10.0	運賃改定に伴う増収 車両稼働率の上昇
営業利益	8,184	14,697	6,513	79.6	
鉄道事業	5,724	11,178	5,453	95.3	
バス事業	1,888	2,982	1,093	57.9	
タクシー事業	571	537	△34	△6.0	人件費の増加
減価償却費	12,937	12,414	△523	△4.0	

3 -1.セグメント別業績 運輸成績 [当社単体・新京成電鉄]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率	新京成電鉄 2024/9 実績
定期	77,920	81,048	3,128	4.0	31,356
定期外	59,632	63,792	4,160	7.0	18,030
合計	137,552	144,840	7,288	5.3	49,386

単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率	新京成電鉄 2024/9 実績
定期	9,334	10,167	832	8.9	2,757
定期外	22,107	26,699	4,591	20.8	3,010
合計	31,442	36,867	5,424	17.3	5,768

単位：百万円



3-1.セグメント別業績 成田空港輸送成績 [当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率
成田空港発着	10,285	13,100	2,815	27.4
有料特急	3,238	4,436	1,198	37.0

単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率
成田空港発着	10,887	14,615	3,728	34.2
有料特急	3,241	4,481	1,239	38.2

単位：百万円



3-1. セグメント別業績 [流通業]

ストア業の新店効果及び既存店が堅調に推移し増収増益

単位：百万円、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	27,922	28,654	731	2.6	
ストア業	20,218	20,980	761	3.8	新店の寄与 ※ 既存店の伸長
百貨店業	4,934	4,957	22	0.5	
その他	2,769	2,716	△53	△1.9	
営業利益	274	290	15	5.7	※主な新店 京成ストア
ストア業	294	325	31	10.6	・業務スーパー八街店(2023年3月) ・業務スーパー東松戸店(2023年5月)
百貨店業	△106	△162	△56	—	コミュニティ京成【ファミリーマート】 ・印旛日本医大駅店(2023年7月)
その他	86	126	40	47.1	コミュニティ京成【プロント】 ・ららテラスTOKYO-BAY店(2024年3月) ・海浜幕張店(2024年9月)

3-1. セグメント別業績 [不動産業]

前年同期における分譲マンション販売の反動により減収減益

単位：百万円、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	18,494	15,832	△2,661	△14.4	
賃貸業	12,814	13,231	416	3.3	新規賃貸物件の寄与 ※
販売業	3,240	18	△3,222	△99.4	分譲マンションの差異 ※
管理業	2,438	2,583	144	5.9	
営業利益	6,278	5,579	△698	△11.1	※主な新規賃貸物件・分譲マンション
賃貸業	5,733	5,397	△336	△5.9	新規賃貸物件
販売業	355	△54	△409	-	・都内エリア賃貸住宅27物件(2023年9月他)
管理業	188	237	48	25.5	・柏市商業ビル(2023年9月)
					分譲マンション(2023/9)
					・サングランデ千葉 都賀テラス 87戸
減価償却費	2,923	2,976	53	1.8	

3-1. セグメント別業績 [レジャー・サービス業、建設業、その他の事業]

■レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	7,365	8,371	1,006	13.7	ホテル業における客室稼働率・ADRの上昇
営業利益	5	592	587	-	

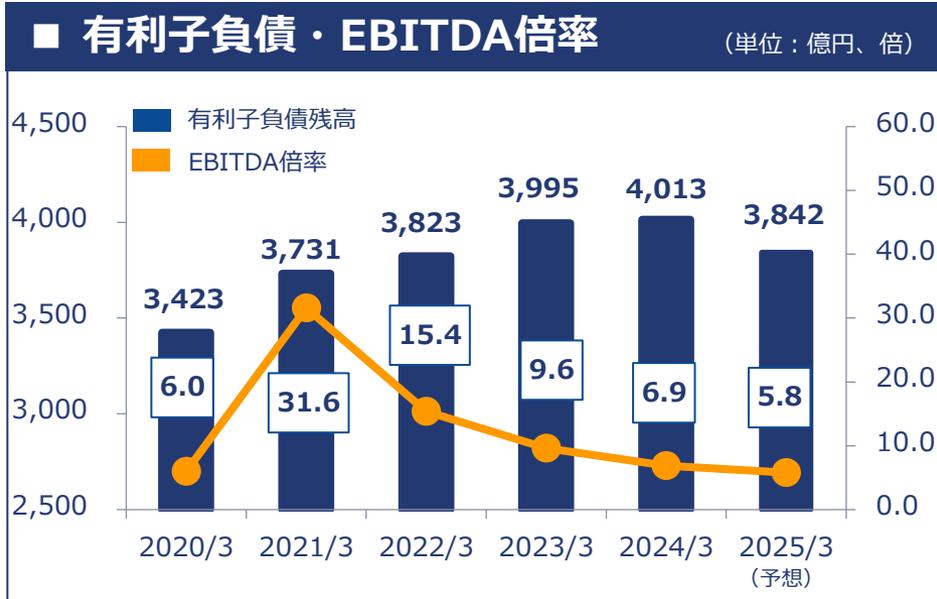
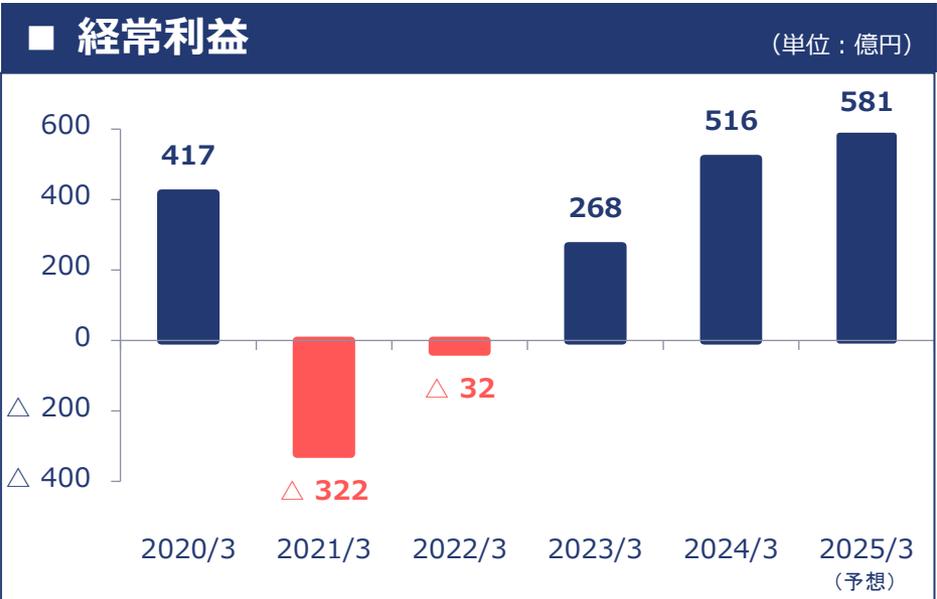
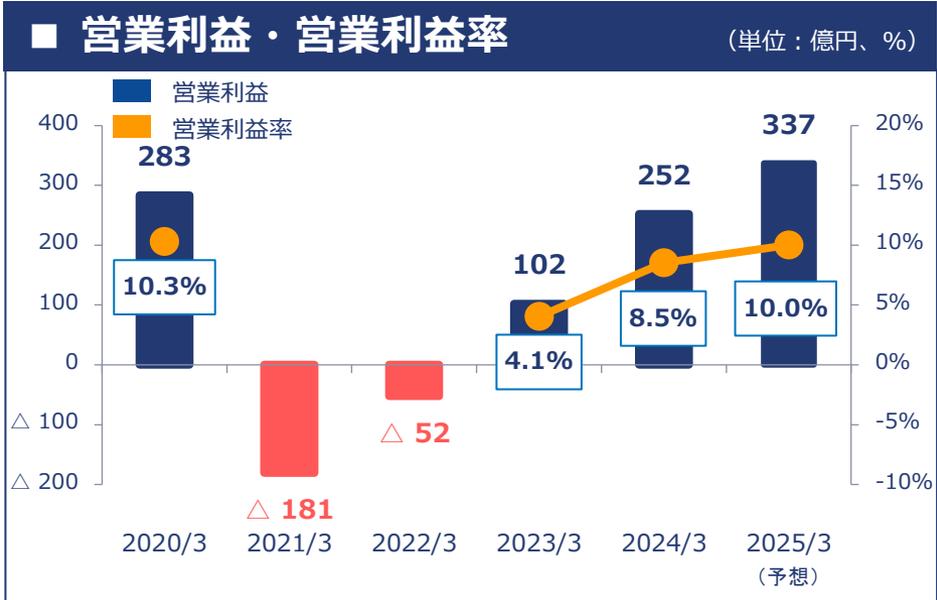
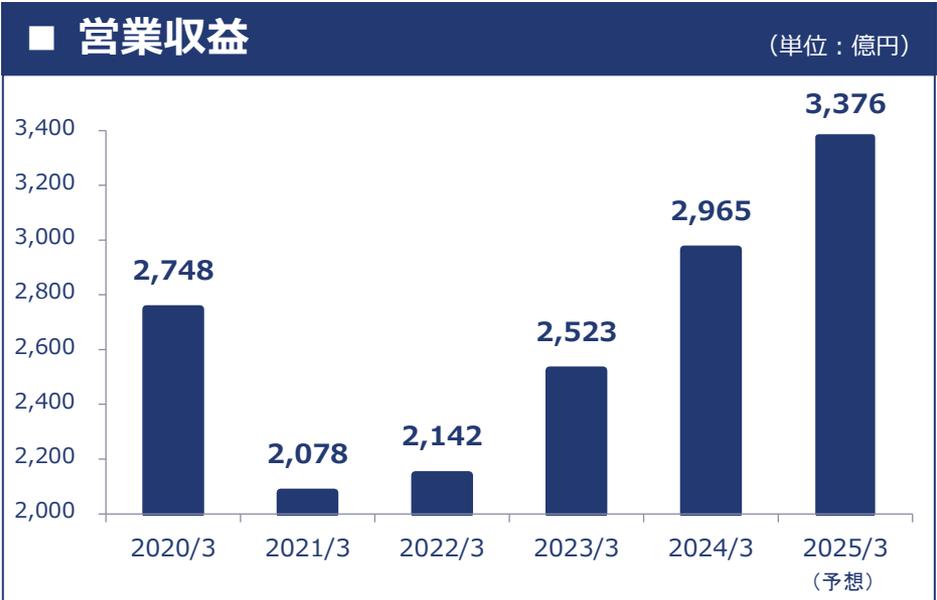
■建設業

単位：百万円、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	13,281	15,390	2,109	15.9	土木工事の増
営業利益	533	907	374	70.2	

■その他の事業

単位：百万円、%	2023/9 実績	2024/9 実績	増減	率	増減要因
営業収益	4,266	4,856	589	13.8	
営業利益	△1	142	144	-	

3-2. 財務ハイライト



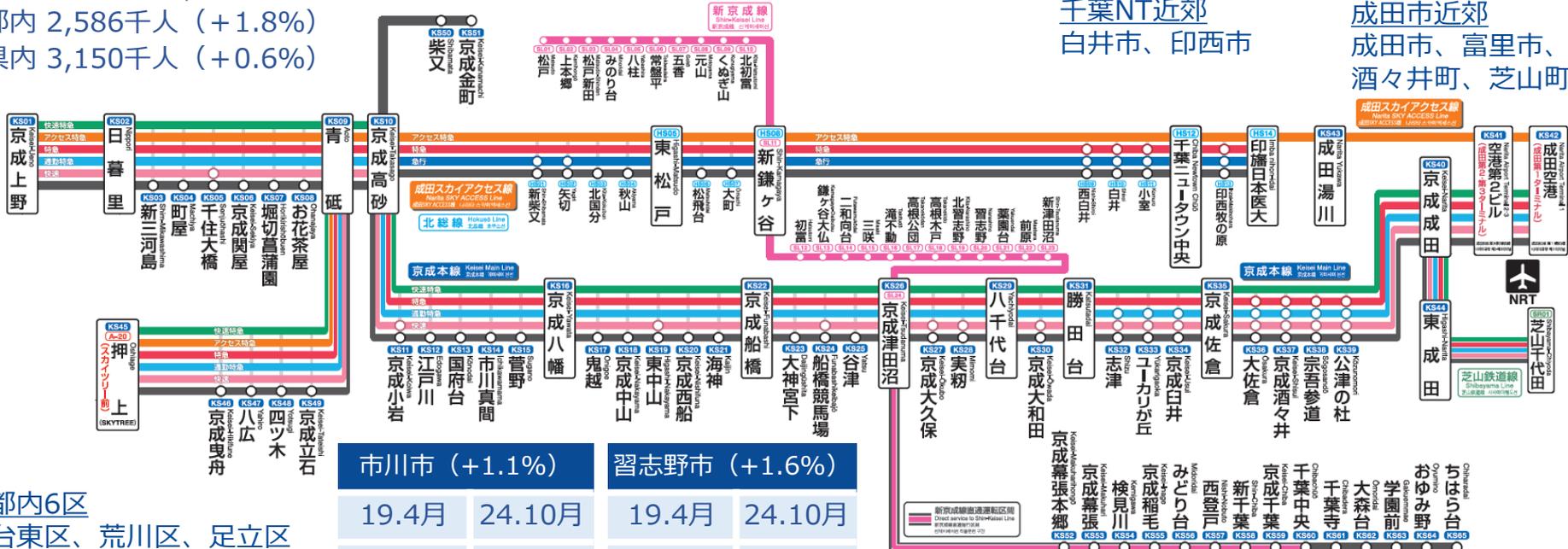
4-1. 沿線人口の推移

2024年10月、2019年4月（前中期経営計画「E4プラン」初年度）比

単位：千人

エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)
 駅数 101駅
 自治体数 都内6区、県内13市 2町
 沿線人口 6,514千人 (+1.3%)
 都内 2,586千人 (+1.8%)
 県内 3,150千人 (+0.6%)

松戸市 (+1.7%)		鎌ヶ谷市 (+0.3%)		千葉NT近郊 (+5.5%)		成田市近郊 (+0.3%)	
19.4月	24.10月	19.4月	24.10月	19.4月	24.10月	19.4月	24.10月
491	500	109	110	161	170	210	210



市川市 (+1.1%)		習志野市 (+1.6%)	
19.4月	24.10月	19.4月	24.10月
494	499	173	176

都内6区 (+1.8%)		船橋市 (+1.8%)		八千代市 (+3.4%)		佐倉市 (△3.9%)		千葉市 (+0.7%)		市原市 (△3.1%)	
19.4月	24.10月	19.4月	24.10月	19.4月	24.10月	19.4月	24.10月	19.4月	24.10月	19.4月	24.10月
2,539	2,586	637	648	197	204	171	164	978	985	271	263

数値は自治体公表値による

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

<https://www.keisei.co.jp/keisei/ir/>